

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における
木材利用等に関するワーキングチーム（第3回）

議事概要

1. 日時：平成28年7月21日（木）14：00～14：30
2. 場所：合同庁舎4号館2階 共用第3特別会議室
3. 出席者：

多田 健一郎	内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局企画・推進統括官
羽山 眞一	内閣官房新国立競技場の整備計画再検討推進室審議官
木村 徹也	スポーツ庁審議官
鈴木 良典	農林水産省大臣官房生産振興審議官（兼生産局）
三浦 正充	林野庁林政部長
小原 昇	国土交通省大臣官房審議官（官庁営繕）
石田 優	国土交通省大臣官房審議官（住宅）
小野寺 弘樹	東京都財務局オリンピック・パラリンピック施設整備担当部長
小野 幹雄	東京都オリンピック・パラリンピック準備局施設整備担当部長
朝山 勉	東京都オリンピック・パラリンピック準備局選手村担当部長
武田 直克	東京都産業労働局安全安心・地産地消推進担当部長
山田 雅史	公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会場整備局会場整備第一部長 ※代理出席
井上 恵嗣	公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会大会準備運営第一局長 ※オブザーバー

（事務局）

- | | |
|-------|--|
| 清水 幹治 | 内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局参事官 |
| 小島 孝文 | 林野庁木材産業課長 |

4. 議事要旨

- ・事務局から資料1に基づき、「（1）ワーキングチームの構成員について」を報告。
- ・各構成員から資料2～5に基づき、「（2）各機関からの情報提供について」を報告。

・意見交換

【林野庁林政部長】

東京都の資料4について、有明アリーナ、アクアティクスセンター、海の森水上競技場の内装木質化において、CLTを活用する可能性はあるのか。

【オリパラ事務局企画推進統括官】

関連するが、東京都の基本設計を終了した施設において、CLTを活用する余地があるのか。

【東京都オリパラ準備局施設整備担当部長】

CLTは構造材と考えており、東京都が整備する大空間の施設への利用は難しいと考えている。CLT以外の部材については、壁・床・天井で使用していきたい。

【国交省大臣官房審議官（住宅）】

CLTの利用は構造材での使用が目立つが、構造材以外の使い方もある。政府全体でもCLT利用を推進しており、可能な範囲で検討いただきたい。

【東京都オリパラ準備局施設整備担当部長】

幅広く検討していく。

【オリパラ事務局企画推進統括官】

ビレッジプラザについて、大会組織委員会では、林野庁から説明があった大会後の後利用（移築等）を検討しているとのことだが、CLTを使用するという理解でよいか。

【大会組織委員会会場整備第一部長】

使用する材については、今後、設計が進んだ段階で林野庁と相談したい。CLTと特定しているものではない。

【オリパラ事務局企画推進統括官】

政府全体でCLTの利用促進が図られているところ。オリンピック・パラリンピック施設はシンボリックなものであり期待されている。林野庁や国土交通省とも相談いただきCLT利用促進の一助となるよう、よろしく願いしたい。

また、CLTプラス全般的な木材利用について、引き続き関係者間で協議し取り組んでまいりたいので、よろしく願います。

・閉会